



エコのまち 麻生

身近なエコについて考えよう



はじめに

第2期麻生区区民会議*では、地球温暖化などの環境問題を一つのテーマとして掲げて調査審議などを行いました。その取組の中で、麻生区の環境に関する基礎データとエコ関連の取組事例を掲載した「麻生区エコカルテ」を作成し、環境教育に役立ててもらうため区内の小学校に配りました。

これを受けて第3期麻生区区民会議では、「エコのまち麻生」のさらなる推進に向けて、このパンフレットを作成しました。これを契機に、一人一人が身近なエコ活動に取り組んでいただければと思います。

あわせて、みなさんが取り組まれている様々なエコ活動をぜひお知らせください。お知らせいただいた活動事例を紹介することで、より多くの方がエコ活動に関心を持ち、実践活動に繋がっていただければと思いますので、ご協力の程よろしくお願ひします。

※区民会議とは…

暮らしやすい地域社会をめざして、区民のみなさんが中心となって参加と協働により、地域社会の課題の解決を図るために調査審議をする会議です。

平成18年から区ごとに設置され、現在は第3期目です。区民会議の委員は各分野からの団体推薦・区長推薦・公募で選ばれた20名で組織されています。

第1期：平成18年7月1日～平成20年6月30日

第2期：平成21年7月1日～平成22年6月30日

第3期：平成22年7月1日～

これまでの麻生区区民会議の取組や審議状況を麻生区のホームページに掲載しています。「麻生区エコカルテ」もありますので、ぜひご覧ください。

ホームページ

<http://www.city.kawasaki.jp/73/73soumu/kuminkaigi/index.htm>

あなたが取り組んでいる
エコの取組や活動を送ってください。
詳しくは裏表紙に書いてあります。



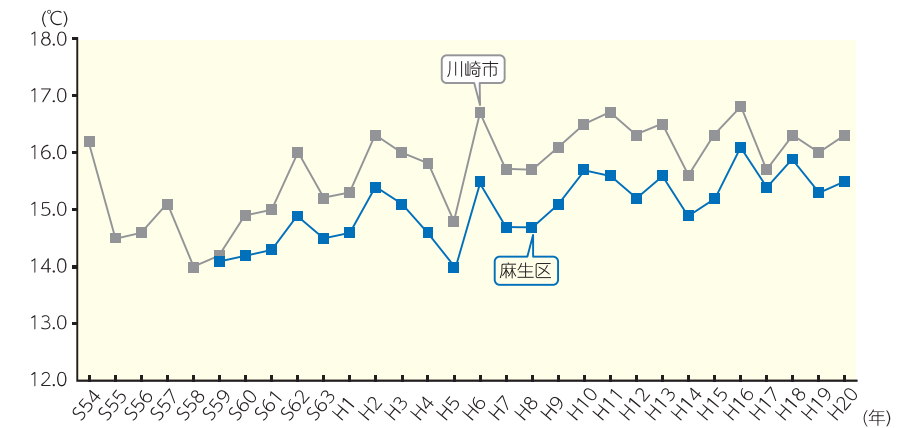
エコちゃん

※このパンフレットにいるキャラクターは、環境局（エコちゃんず、エコちゃん）と建設緑政局（グリーンピー）のエコ活動や環境保全に関するイメージキャラクターです。

麻生区における温暖化の状況

平均気温の変化

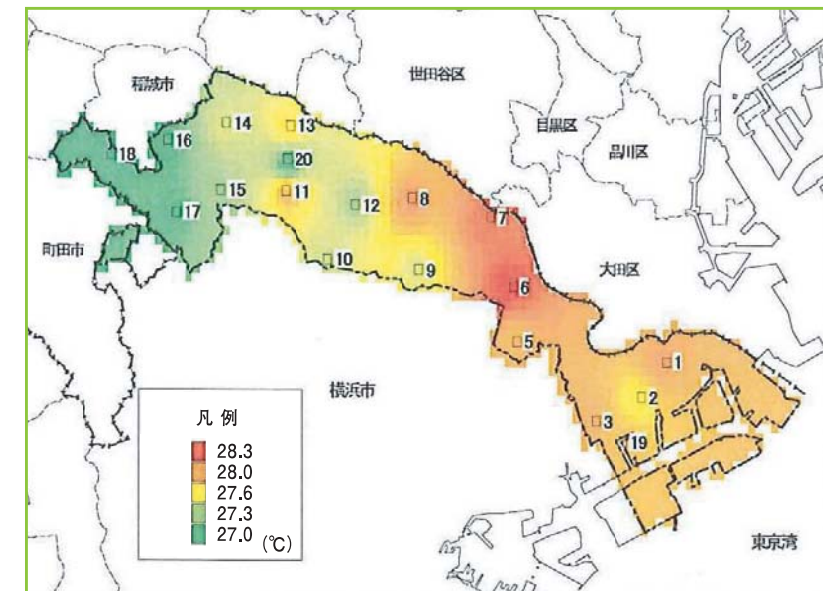
グラフの右が年々高くなっていることから、麻生区、川崎市とも平均気温が上昇していることがわかります。昭和59年～平成20年の麻生区と川崎市の平均気温を比較すると、各年とも麻生区が低くなっています。



出典/川崎市公害監視センター

8月の平均気温分布

川崎市では、北部にいくほど気温が低く、南部にいくほど高くなっています。

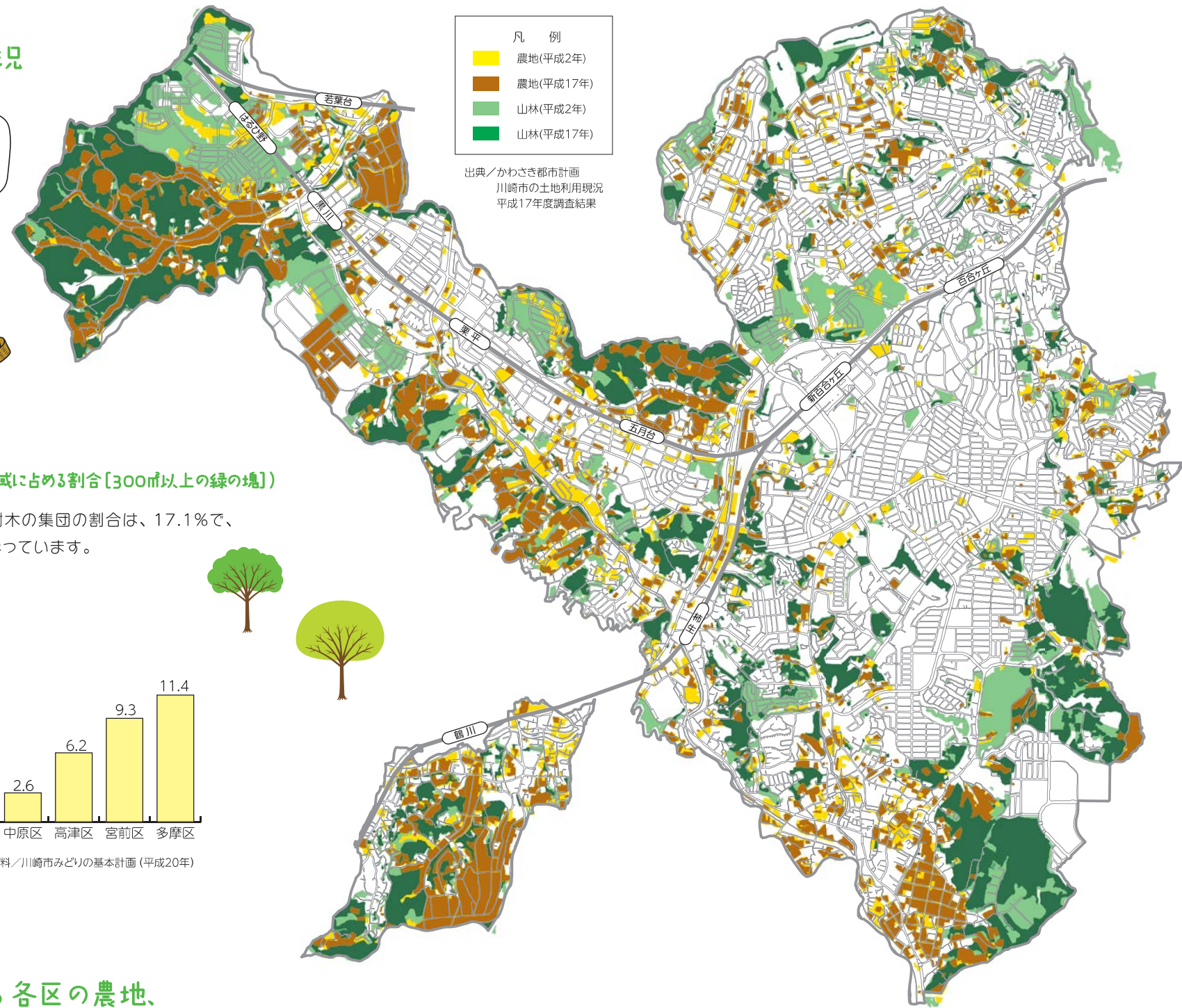


出典/平成17年度 川崎市公害研究所

麻生区における自然環境資源

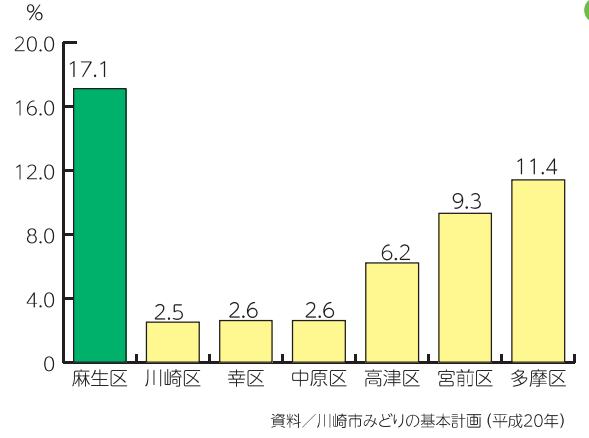
農地、緑地の状況

平成2年にあった農地、山林が平成17年になるとたくさんなくなっています。



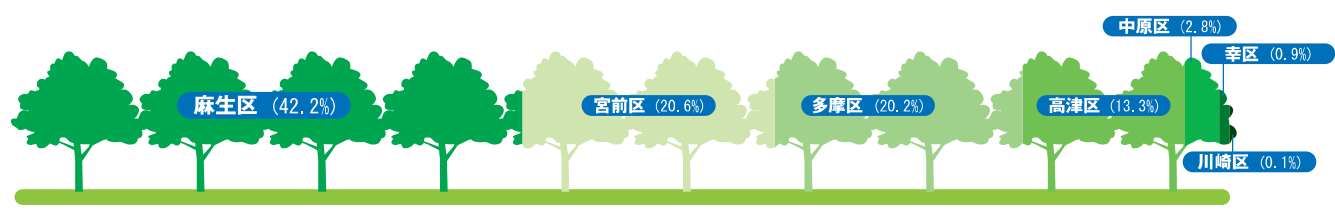
樹木の集団 (区域に占める割合[300㎡以上の緑の塊])

麻生区の区域に占める樹木の集団の割合は、17.1%で、川崎市の中で最も高くなっています。



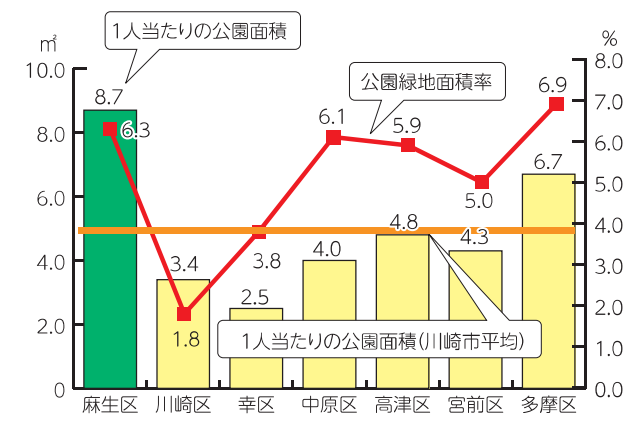
川崎市における各区の農地、山林が占める割合

麻生区は川崎市7区の中で最も農地・山林の割合が多く、42.2%を占めています。



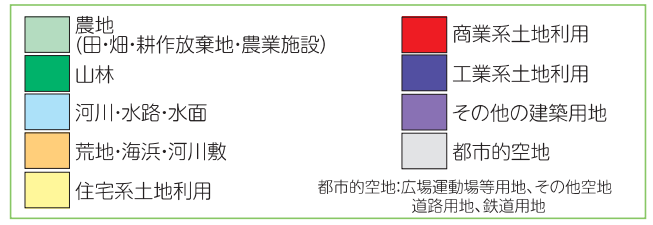
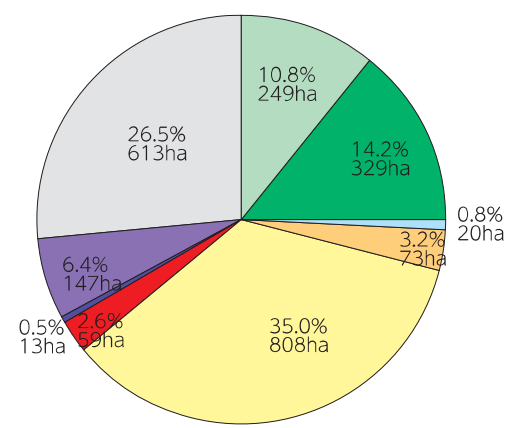
1人当たりの公園面積

区に占める公園緑地面積率をみると、多摩区の6.9%が最も高く、次いで麻生区の6.3%となっています。しかし、麻生区の1人当たりの公園面積は、8.7㎡と川崎市7区の中で最も高くなっています。



土地利用分類別の割合 (麻生区)

麻生区は、住宅系の土地利用に多く占められ、商業、工業系の土地利用が少ないのが特徴です。



資料/かわさき都市計画川崎市の土地利用現況平成17年度調査結果